

平成30年度仁淀川清流保全推進協議会 事業報告

資料1-1

| 年 | 開催日 | 行事名 | 場所 | 内容 |
|-----------|---------------------|---------------------|--|---|
| 平成30年 | 5月26日(土) | 親子ガサガサ体験教室(第1回)※ | いの町 波川緑地公園 | 水生昆虫探し及び観察(親子6組14名) |
| | 5月24日(木) | 上八川川流域部会(第1回) | いの町 (吾北) | 平成29年度事業報告及び収支決算、平成30年度事業計画等について |
| | 5月25日(金) | 中流域部会(第1回) | 越知町 | |
| | | 上流域部会(第1回) | 仁淀川町 | |
| | 5月29日(火) | 河口域部会(第1回) | 土佐市 | |
| | 5月31日(木) | 下流域部会(第1回) | いの町 | |
| | 6月9日(土) | 親子ガサガサ体験教室(第2回)※ | いの町 波川緑地公園 | 水生昆虫探し及び観察(親子8組22名) |
| | 6月13日(水) | 全体会 | いの町 | 平成29年度事業報告及び収支決算、平成30年度事業計画等について |
| | 6月16日(土) | RACリーダー講座 | いの町 | 座学及び実習(参加者数:16名) 【別紙1】参照 |
| | 6月17日(日) | | | |
| | 7月12日(木) | 環境学習 | 越知町 | 越知小学校4年生30名 |
| | 8月1日(水) | 美しい景観を保全するWG(第1回) | 土佐市 | 座長の選出、協議会で取り組んでいきたいことについて 【別紙3~5】参照 |
| | | 子どもたちを川に呼び戻すWG(第1回) | 土佐市 | |
| | 8月19日(日) | 川という自然の理解講座 | いの町 | 座学及び実習(参加者数:11名) |
| | 9月28日(金) | 環境学習 | 越知町 | 越知中学校2年生32名、教員3名 |
| | 10月20日(土) | 仁淀川一斉清掃 | 流域6会場 | 参加者数:332名、 ごみ回収量:1,127kg 【別紙2】参照 |
| 11月23日(金) | 川と人、社会、文化の関わり講座 | 仁淀川町 | 座学及び実習(参加者数:14名) 【別紙1】参照 | |
| 11月28日(水) | 子どもたちを川に呼び戻すWG(第2回) | 土佐市 | 仁淀川清流保全計画改訂について、来年度事業について 【別紙3~5】参照 | |
| 12月5日(水) | 美しい景観を保全するWG(第2回) | 土佐市 | | |
| 平成31年 | 1月16日(水) | 中流域部会(第2回) | 越知町 | 川の安全教室、仁淀川一斉清掃の結果について、WGにおける検討経過について、仁淀川清流保全計画の改訂について |
| | 1月17日(木) | 上流域部会(第2回) | 仁淀川町 | |
| | 1月22日(火) | 下流域部会(第2回) | いの町 | |
| | | 河口域部会(第2回) | 土佐市 | |
| 1月25日(金) | 上八川川流域部会(第2回) | いの町 (吾北) | | |

| 年 | 開催日 | 行事名 | 場所 | 内容 |
|---------------|----------|-------------------------|--------|--|
| 平成 31 年 | 1月27日(日) | 川づくり団体全国事例 発表会 | 東京都文京区 | 前年度に河川基金の助成を受けた 市民団体による実践事例の発表、 ポスターセッション |
| | 2月21日(木) | 子どもたちを川に呼び 戻すWG(第3回) | 土佐市 | 「宿題シート」(必要だと思うこ と、やってみたいこと、その理 由・背景)による意見交換 【別紙3～5】参照 |
| | | 美しい景観を保全する WG(第3回) | 土佐市 | |

※ 親子ガサガサ教室は、高知県立高知青少年の家が主催で実施。
仁淀川清流保全推進協議会は共催。

川の安全教室実績概要

1 目的

仁淀川をフィールドとした環境学習・体験活動等の実施者、またはこれから実施しようとしている方に対し、安全対策・安全管理の基本的な考え方と技術が学べる研修会を実施し、川の特徴を理解し、川での活動における危機管理能力を身につけた人材※を育成する。

また、仁淀川流域の危険箇所について共有する場をつくり、流域が一体となった安全対策の実施につなげることを目指す。

※ 人材：具体的には国の認定資格である RAC インストラクター、RAC リーダーを育成

RAC インストラクター：グループ及び現場の責任者として指導できる人材。

講座の受講以外に RAC リーダーの資格取得後 100 時間の OJT が必要。

RAC リーダー：活動範囲は RAC インストラクターのもとでの指導で、補助的役割を担う。

資格取得予定人数：6名

RAC アシスタントリーダー：RAC リーダー必須科目 21 時間のうち、RAC 指定の科目 6 時間以上終了した者。

2 実施した講座

(1) RAC リーダー講座（川で指導的役割を担う場合に最低限必要な知識・技術を学べる講座）

日 時 平成 30 年 6 月 16 日（土）12:00～17:00、6 月 17 日（日）10:00～15:30

場 所 座学：高知県立高知青少年の家研修室 1（吾川郡いの町天王北 1-14）

実習：波川親水公園

参加者数 16 名（座学及び実技：10 名、座学及び実技見学：2 名、座学のみ：4 名）

(2) 川という自然の理解講座

日 時 平成 30 年 8 月 19 日（日）9:30～12:30

場 所 座学：とさ自由学校（吾川郡いの町勝賀瀬 4387）

実技：勝賀瀬川

参加者数 11 名

(3) 川と人、社会、文化の関わり講座

日 時 平成 30 年 11 月 23 日（金・祝）13:00～16:00

場 所 座学：によど屋和室（吾川郡仁淀川町土居甲 1078-2）

実技：旧池川町中心部

参加者数 14 名

仁淀川一斉清掃 実績概要

1 日時等

(1) 実施体制

主催：仁淀川清流保全推進協議会・高知市・土佐市・いの町・日高村・佐川町・越知町・仁淀川町（流域7市町村）・高知県

共催：仁淀川流域交流会議・ラブリバー仁淀川パートナーシップ

協賛：アサヒビール株式会社・株式会社サニーマート

後援：NHK 高知放送局、高知新聞社、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ

(2) 実施日 10月20日（土）

(3) 開始時間 午前8時※から1時間程度

※土佐市・高知市エリアは午前7時、
佐川町・越知町エリアは午前8時30分

2 清掃実績

| | 場 所 | 参加者数 | ごみ 回収量 |
|-----|---|-------|-----------|
| 1 | 仁淀川町エリア (池川地区北浦ふれあい公園) | 27 人 | 85 kg |
| 2 | 佐川町・越知町エリア (佐川町黒瀬釣場付近) | 21 人 | 215 kg |
| 3 | 日高村エリア (能津地区屋形船仁淀川発着場) | 30 人 | 197 kg |
| 4 | いの町吾北エリア (吾北地区広瀬キャンプ場) | 25 人 | 40 kg |
| 5 | いの町伊野エリア (いの町伊野地区波川親水公園) | 95 人 | 90 kg |
| 6 | 高知市・土佐市エリア (高知市春野町仁ノ仁淀川河口大橋河川敷(仁淀川河口大橋左岸)) | 134 人 | 500 kg |
| 合 計 | | 332 人 | 1,127 kg |

【清掃実績】

| | エリア | 平成23年度実績 (H23. 10. 22) | | 平成24年度実績 (H24. 10. 20) | | 平成25年度実績 (H25. 10. 19) | | 平成26年度実績 (H26. 10. 25) | | 平成27年度実績 (H27. 10. 24) | | 平成28年度実績 (H28. 10. 22) | | 平成29年度実績 (H29. 10. 14) | | 平成30年度実績 (H30. 10. 20) | |
|------|---------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|
| | | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] | 参加 人数 [人] | ごみ 回収量 [kg] |
| 1 | 仁淀川町 | 66 | 145 | 47 | 250 | 36 | 145 | 50 | 100 | 45 | 130 | 29 | 55 | 26 | 120 | 27 | 85 |
| | 可燃ゴミ | | 43 | | 100 | | 35 | | 30 | | 30 | | 25 | | 20 | | 40 |
| | 不燃ゴミ | | 102 | | 150 | | 110 | | 70 | | 100 | | 30 | | 100 | | 45 |
| 2 | 越知町・佐川町 | 32 | 110 | 37 | 135 | 52 | 70 | 50 | 135 | 58 | 85 | 37 | 65 | 16 | 60 | 21 | 215 |
| | 可燃ゴミ | | - | | - | | - | | - | | - | | - | | - | | 150 |
| | 不燃ゴミ | | | | | | | | | | | | | | | | 65 |
| 3 | 日高村 | | | | | 30 | 300 | 24 | 338 | 43 | 262 | 34 | 163 | 46 | 180 | 30 | 197 |
| | 可燃ゴミ | | | | | | 300 | | 120 | | 30 | | 30 | | 40 | | 16 |
| | 不燃ゴミ | | | | | | - | | 168 | | 222 | | 88 | | 128 | | 133 |
| | 金属ゴミ | | | | | | - | | 50 | | 10 | | 45 | | 12 | | 48 |
| 4 | いの町吾北 | 33 | 114 | 25 | 168 | 28 | 146 | 25 | 130 | 31 | 129 | 28 | 73 | 23 | 50 | 25 | 40 |
| | 可燃ゴミ | | 44 | | 68 | | 16 | | 30 | | 30 | | 15 | | 2 | | 3 |
| | 不燃ゴミ | | 50 | | 40 | | 80 | | 100 | | 60 | | 25 | | | | |
| | 粗大ゴミ | | - | | 20 | | - | | - | | 30 | | 30 | | | | |
| | 金属ゴミ | | - | | - | | - | | - | | 3 | | | | | | |
| | 資源ゴミ | | 20 | | 40 | | 50 | | - | | 6 | | 3 | | | | |
| 5 | いの町伊野 | 116 | 354 | 186 | 375 | 117 | 470 | 115 | 400 | 134 | 160 | 100 | 180 | 123 | 280 | 95 | 90 |
| | 可燃ゴミ | | 180 | | 220 | | 220 | | 50 | | 40 | | 100 | | 110 | | 40 |
| | 不燃ゴミ | | 130 | | 95 | | 210 | | 330 | | 100 | | 50 | | | | |
| | ビン類ゴミ | | 8 | | 10 | | 10 | | 10 | | 10 | | 10 | | 170 | | 50 |
| 金属ゴミ | | 36 | | 50 | | 30 | | 10 | | 10 | | 20 | | | | | |
| 6 | 土佐市・高知市 | 258 | 780 | 197 | 590 | 185 | 360 | 124 | 405 | 0 | 0 | 180 | 300 | 230 | 380 | 134 | 500 |
| | 可燃ゴミ | | 120 | | 410 | | - | | 330 | | 0 | | 240 | | 50 | | 400 |
| | 不燃ゴミ | | 660 | | 180 | | 360 | | 75 | | 0 | | 60 | | 330 | | 100 |
| 合計 | | 505 | 1,503 | 492 | 1,518 | 448 | 1,491 | 388 | 1,508 | 311 | 766 | 408 | 836 | 464 | 1,070 | 332 | 1,127 |
| | 可燃ゴミ | | 497 | | 933 | | 641 | | 695 | | 215 | | 475 | | 282 | | 714 |
| | 不燃ゴミ | | 942 | | 465 | | 760 | | 743 | | 482 | | 253 | | 776 | | 365 |
| | ビン類ゴミ | | 8 | | 10 | | 10 | | 10 | | 10 | | 10 | | 0 | | 0 |
| | 金属ゴミ | | 36 | | 50 | | 30 | | 60 | | 23 | | 65 | | 12 | | 48 |
| | 粗大ゴミ | | - | | 20 | | - | | - | | 30 | | 30 | | 0 | | 0 |
| | 資源ゴミ | | 20 | | 40 | | 50 | | - | | 6 | | 3 | | 0 | | 0 |

※「土佐市・高知市会場」は、H27年度浸水により開催中止

仁淀川町エリア



佐川町・越知町エリア



日高村エリア



いの町吾北エリア



いの町伊野エリア



高知市・土佐市エリア



子どもたちを川へ呼び戻すWG検討概要

| | | |
|-----------|------------|---|
| H30.8.1 | H30 第1回 WG | <p>1 座長選出</p> <p>2 協議会で取り組んでいきたいこと 子どもが川に行かなくなった原因、学校が取り組みやすくなるための支援、川の安全管理等について協議</p> |
| H30.11.28 | H30 第2回 WG | <p>1 来年度事業について 子ども水辺安全講座、RAC アシスタントリーダー講座、仁淀川向け入門編（学校、PTA、大学生を対象とした川の安全について学べる座学）の作成、川という自然の理解講座を実施する方向で検討</p> <p>2 仁淀川清流保全計画改訂について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに対する取組項目の整理が必要 ・自分達でやれることを重点項目として位置づけるとともに、5年後の目標を設定する。 ・「水質マップ」についての検討 |
| H31.2.21 | H30 第3回 WG | <p>1 河川教育研究会及び全国川づくり団体全国事例発表会参加報告</p> <p>2 「宿題シート」による意見交換 学校が仁淀川に関する学習が取り組みやすくなるための支援やリスクマネジメントの底上げにつながる取組について協議</p> |
| H31.4.17 | H31 第1回 WG | <p>1 平成31年度 川の安全教室の実施について 子ども水辺安全講座、RAC アシスタントリーダー講座、仁淀川向け入門編（学校、PTA、大学生を対象とした川の安全について学べる座学）の作成、川と人、社会、文化の関わり講座を実施する方向で検討</p> <p>2 事業の実施計画について 「仁淀ブルーサポーター制度」「仁淀川学習」プログラム開発 「水質マップ」の内容について協議</p> |

H30 第1回WG

開催日時：平成30年8月1日（水）13:42～15:30

協議内容

- 座長選出 石川 妙子さん
- 協議会で取り組んでいきたいこと
 - ・ 子どもが川に行かなくなったのは、学校が遊泳禁止にしたことや親が忙しいことが原因。
 - ・ いろんな行事を通じて川に行くことが大事。
 - ・ 学校が取り組むためには、熱心な先生がいるかどうかと、地域の人が熱心に働きかけてくれるかどうか。学校は地域のバックアップ無しにはできない。
 - ・ 高知青少年の家が実施している「親子ガサガサ体験教室」は、協議会といの町がバックアップしている。仕組みが必要。
 - ・ RACリーダーの資格取得者を中心にサポート体制を作っては。
 - ・ 仁淀川をフィールドとした調べ学習向けハンドブックを作って、いろいろなメニューの提案やサポート体制の紹介をしては。
 - ・ 川の安全について情報を一元管理するところが必要では。
 - ・ 地域での川イベントとRACリーダーの資格取得者との連携を図っていくための仕組みが必要では。

H30 第2回WG

開催日時：平成30年11月28日（水）14:00～16:15

協議内容

- 来年度事業について
 - ・ 河川基金の助成が受けられたら、以下の事業を実施する。
子どもの水辺の安全講座、RACアシスタントリーダー講座、仁淀川流域向け入門編（学校、PTA、大学生を対象とした川の安全について学べる座学）の作成、川という自然の理解講座
- 仁淀川清流保全計画改訂について
 - ・ テーマに対して1～4の取組項目が適切かどうか。整理が必要。
 - ・ PTAにもアンケート調査（実施している内容、希望）をして、連携につなげていっては。
 - ・ アンケートや取組状況の照会結果から得られたデータを比較して、どうありたいかを話し合う必要がある。
 - ・ 今回は前回との変化を追うのみになる。次回は目標値が設定できるものは設定して、取組の評価を行えるようにする。
 - ・ 自分達でやれることを重点項目として位置づけ、5年後の目標を設定する。
 - ・ 学校やお宝探偵団、また一斉清掃の際に水質調査を実施しているが、その結果を「水質マップ」にすることで見えるようにしては。
 - ・ 以前お宝探偵団が作った水質マップは100地点で実施した。
 - ・ 数にとらわれず、徐々に増やしていくイメージ。地図に落とすことで、やっていない地域が目に見えてわかるようになる。
 - ・ 次回までに「子どもたちを川へ呼び戻す」ために協議会として取り組みたいこと、なぜそう思ったかを考えてくる。

子どもたちを川へ呼び戻すWGで話し合った内容

H30 第3回WG

開催日時：平成31年2月21日（水）10:16～12:15

協議内容

- 河川教育研究交流会及び全国川づくり団体全国事例発表会参加報告
 - ・ リスクマネジメントについての取組は、RACが保護者が自力で頑張っている。
 - ・ 外部のプラットフォームがあるところは無く、先生達も手探り状態。
- 「宿題シートによる意見交換」
 - ・ 総合学習の地元学で川をやらないのは、先生が知らないことが原因。地域の人の支援が必要。
 - ・ 「川×地域（食・文化・歴史・防災等）」ならやりやすいのでは。
 - ・ 「教材+安全性」を提供して、やりたいことを学校に選んでもらう。
 - ・ イベント時の消防や警察との連携についてマニュアルを作成し、周知しては。
 - ・ リスクマネジメントの底上げは、川で遊んだり体験するイベント講座全体で必要。5/12日のガサガサ探偵団（NPO法人仁淀川お宝探偵団）で事前打合せや下見などの一連流れを下見しては。
 - ・ 管理責任はイベント主催者で、RACリーダーはあくまでも支援。支援できる内容、支援の際の情報をまとめた主催者向けの文書が必要

H31 第1回WG

開催日時：平成31年4月17日（水）9:57～12:05

協議内容

- 平成31年度 川の安全教室の実施について
 - ・ 河川基金は不採択だったが、以下の事業を実施する方向で検討。
子ども水辺の安全講座、RACアシスタントリーダー講座、仁淀川流域向け入門編（学校、PTA、大学生を対象とした川の安全について学べる座学）の作成、川と人、社会、文化の関わり講座
- 事業の実施計画について
 - * **仁淀ブルーサポーター制度**
 - ・ イベントの情報発信ができ、流域内で連携も取れるようになる。
 - ・ スタンプを地域で分けるか、参加するイベントの種類で分けるのか、工夫が必要。
 - * **「仁淀川学習」プログラム開発**
 - ・ プログラム開発の際、バックデータ（文献、現地調査、地域の方の話）が必要になることがある
 - * **水質マップ**
 - ・ 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加を呼びかければキットがもらえるので、学校に参加を呼びかけては。学校によっては、やり方に自信が無いところもあるので、手助けは必要。
 - ・ バックテストキット代が必要だが、一斉清掃のときに合わせて学校に取り組んでもらっては。発表できるには1学期に。可能であれば6月、それ以外は参考値にしてもいいのでは。

美しい景観を保全するWG検討概要

| | | |
|----------|------------|--|
| H30.8.1 | H30 第1回 WG | <p>1 座長選出</p> <p>2 協議会で取り組んでいきたいこと 清掃活動に参加したくなるアイデアや河口域ゴミ勉強会、県域を越えた「上下流の連続」を意識した取組等について協議 また、テーマに対する取組項目ごとに現状について協議</p> |
| H30.12.5 | H30 第2回 WG | <p>1 仁淀川清流保全計画改訂について テーマに対する取組項目ごとに協議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仁淀川一斉清掃の日の制定 制定済。次のステップである「啓発・仕組み」について検討 ・ 仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報 現状を把握し、知らせる手法として「ゴミマップ」を検討 ・ 仁淀川における水辺の保全活動の普及促進 協働の川づくりの説明を追加 ・ 水辺林の適正な整備の推進 「川本来の生態系を取り戻す」に移す ・ 上下流の連続 「水質マップ」への参加呼びかけについて検討 <p>2 来年度事業について 河口域ゴミ勉強会、高知大学との連携、取組の考え方について協議</p> |
| H31.2.21 | H30 第3回 WG | <p>「宿題シート」による意見交換 支流からのゴミの流入や子どもたちを対象とした仁淀川かのことを学ぶ仕組みづくり、一斉清掃への参加者を増やすための工夫やイベントに清掃活動をプラスして関心を持つきっかけにつなげていけないか等について協議</p> |
| H31.4.17 | H31 第1回 WG | <p>事業の実施計画について 「仁淀ブルーサポーター制度」「仁淀川一斉清掃+α」「ゴミ勉強会」「ゴミマップ」の内容について協議</p> |

第1回WG

開催日時：平成30年8月1日（水）10:00～12:00

協議内容

- 座長選出 大下 宗亮さん
- 協議会で取り組んでいきたいこと
 - ・ 仁淀川の2/3は愛媛県を流れている。清掃活動など県境を越えて何かやれないか。「上下流の連続」を追加しては。
 - ・ 河口域ゴミ勉強会（H28）はやってよかったが、趣旨や分析のやり方を工夫する必要がある。
 - ・ より効果的にやるには、遊びの要素を加えて、小学生・家族単位で参加したくなるようにする。
 - ・ 高知大学の学生サークルがどのチームが一番拾ったかを競う「スポゴミ」をやっている
 - ・ 「遊び+恵み+ゴミヤバイ」の仕組みを作る。川で遊んでいると「ここ汚い！嫌!!」の気持ちが生まれる。

取組項目：仁淀川一斉清掃の日の制定

- ・ 河口はゴミが流れてくる場所であり、ゴミを捨てる場所になっている。
- ・ 一斉清掃は毎年同じ場所だが、支流でもいいのでは。関心を持ってもらうことが大事。

取組項目：仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報

- ・ ゴミの不法投棄のマップは無いが、場所は特定されている。作っておいて普段から気をつけることが必要。

取組項目：仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進

- ・ 「普及促進」はぼんやりとしている。
- ・ 人の目が届いていることをPRすることが大切では。掃除をしていることが伝わったのか、昨年より減った。
- ・ 捨てる人、捨てる物、それぞれアプローチのしかたが異なる。出口（仁淀川）で見ない。

取組項目：水辺林の適正な整備の推進

- ・ 言葉的にわかるが、実際にこれからどうするか。

第2回WG

開催日時：平成30年12月5日（水）9:56～12:05

協議内容

- 仁淀川清流保全計画改訂について
 - ・ 計画第6章 仁淀川の目指す将来像と取組内容の取組は今4つで、前回のWGで新たに「上下流の連続」が出た。久万高原町や内子町と連携して具体的に動けるか？
産廃の話や水質の悪さ等、ネガティブな話が上流側にあるが、足並みが揃うのか？入れることで清流保全に水を差すのでは。
子どもたちを川へ呼び戻すWGで水質マップづくりが拳がっている。それへの参加を呼びかけては。ネガティブではなく、ポジティブなポイントでつながる。

取組項目：仁淀川一斉清掃の日の制定

- 制定済で目標は達成している。次のステップは啓発・仕組みづくり。
課題としては、参加者の固定化がある。参加者を増やす仕組みが必要。参加しない人にどうアプローチするか。
対象：流域住民

美しい景観を保全するWGで話し合った内容

取組項目：仁淀川へ遊びに来る人へのマナーアップ運動の啓発・広報

- ・対象：流域外
- ・数値として取れるものが県・市町村であるか。波川ならコラム的に出せるのでは。ゴミマップは国土交通省のみ。市町村が不法投棄のデータを持っているか、また、そのデータを提供してもらえるか。
- ・ゴミマップは抑止力になるよう、作ること、伝えることに重きを置いて考える。
- ・マイクロプラスチックをからめるか。河口でやったゴミ分析勉強会がやれるならゴミのデータが取れる。ゴミ分析勉強会を「何とかしてやろう!!」につながる取組にできないか。
- ・「観光公害」という文脈を入れるか？状況、自治体の負担（人件費、処分費、最終処分場への負荷）

取組項目：仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進

- ・このままでいいのでは。
- ・協働の川づくり事業の説明を追加。

取組項目：水辺林の適正な整備の推進

- ・国土交通省は実施しているが、整備の目的は治水。
- ・「整備」は疑問。エコトーンや緩衝帯としての機能といった価値を知ってもらう取組なら。景観は結果。
- ・【期待される効果】に書かれていることを読んで「川本来の生態系を取り戻す」に移した方がよい。

【期待される効果】

- 水辺林を手入れの行き届いた憩いの場として整備することで、川の生き物の生息環境の安定化や水質浄化などの水辺林の本来の機能が保全されます。

■ 来年度事業について

- ・河口域ゴミ勉強会をそろそろやってもいいのでは。
- ・高知大学生との連携は、高知大学地域連携推進センターの先生に話をしている。今年度中に学生サークルのメンバーと一度話しておけたら来年度につながるのでは。
- ・ゴミは考えようによってはビジネスチャンスである。捨てやすい、環境への負荷が少ないパッケージや捨てにくい心理の醸成など、新規のアプローチができる。
ポジティブな将来を思い描いて、実現に向けてやれることを取り組んでいく。
- ・次回までに「美しい景観を保全する」ために協議会として取り組みたいこと、なぜそう思ったかを考えてくる。

第3回WG

開催日時：平成31年2月21日（木）13:55～16:00

協議内容

■ 「宿題シート」による意見交換

- ・川の風景を構成する山、田畑などの周辺の景観、文化的・歴史的な景観、土木遺構については、“水文化を継承する”に盛り込む

* 支川からのゴミの流入

- ・ツルヨシが多いと捨てやすいのでは？
- ・支川によってゴミの種類に違いがある。
- ・集落のあるところは子ども達が多くいる。教育的に何かできないか？

美しい景観を保全するWGで話し合った内容

* 仁淀ブルーサポーター制度

- ・子どもを対象とした仁淀川のことを学ぶ仕組み。活動を通じて大人が仁淀川に対してどのような思いを抱いているかを学ぶ仕組み。スタンプを集めて、いっぱいになったら評価。
- ・観光客にひろげられないか？
- ・一斉清掃に参加したら何か特典がもらえる等、工夫ができないか。
- ・「堤防ウォーキング & ゴミ拾い」など関心を持つ仕組みをセットする。

* 仁淀川1万人清掃プロジェクト

- ・一斉清掃の啓発はマンネリ化しており、参加者も固定化している。違う啓発手段が必要。
- ・学校の巻き込むには教育効果が必要。清掃だけでは難しい。

H31 第1回WG

開催日時：平成31年4月17日（水）14:00～15:45

協議内容

■ 事業の実施計画について

- ・仁淀川一斉清掃やゴミ勉強会などの取組をそれぞれ連携させていくことが必要。流域全体を見る目を持つ

* 仁淀ブルーサポーター制度

- ・川にふれるきっかけを大切にする。楽しいところに人は集まる
- ・企業の協賛が得られるような仕組みにできると一番いい。

* 仁淀川一斉清掃 + a

- ・aは参加者のバリエーションを増やすアプローチ。
- ・時間をかけてやってみてもいいのでは。

* ゴミ勉強会

- ・ちゃんと分別して捨てていた場合の価値を計算し、伝える。また、ちゃんと捨てないことは0円ではなく、マイナスであることも伝える。
- ・行動の変化につながるような内容にする。

* ゴミマップ

- ・「ゴミ拾いを誰がいつやって、どんなゴミがあるのか？」という情報を集めるための意識の醸成、報告マニュアルの作成が必要。